

《屋根・外壁》

【屋根】

総合的にみて**陶器瓦**がおすすめです。

リフォームの場合は、現場に合わせて、耐震性のことも考慮して、**軽量で丈夫な屋根材**をご提案することもあります。屋根材の下に**遮熱効果のあるシート**を張り、建物内に、熱とか冷気とかを遮る工事もしています。

屋根は、住宅を守るために、いつも、最も過酷な条件にさらされています。

日本の屋根と言えば、**粘土瓦**。日本の住宅の半分は「粘土瓦」です。**陶器瓦**も粘土瓦の一種です。自然素材で、窯で焼成してあります。焼き物なので、**色あせることもなく、長持ち**します。**遮音性がある**ので、雨音が気になりません。

以前は、地震や台風などの自然災害に弱く、補修工事を繰り返し行っていたこともありましたが、しかし、最近ではそのような災害に強い**防災瓦**が開発され、施工方法なども改善されたことで安全・安心で**メンテナンスフリー**な屋根材として進化し続けています。

デザインも和瓦、洋風に合う平板瓦、西洋風のスパニッシュ瓦、焼いた後、釉薬は全く使用しないでいぶされた瓦であるいぶし瓦などがあります。

他の屋根材の**スレート屋根**や**金属屋根材**などは、7年～15年で表面の着色層が退色するため、塗替えなどの補修メンテナンス費用がかかってきます。「瓦屋根はコストが高い」と思われがちですが、ランニングコストを考えると一概にはいえません。

スレート屋根とは、薄い板状の屋根材で、「コロニアル屋根」「カラーベスト」「ストレート屋根」のことをいいます。カラーが豊富でデザイン性があり、複雑な屋根にも合わせた施工が可能です。

スレート屋根は重量が軽いので、耐震を考えた時には、有効です。屋根が軽ければ軽いほど、重心が低くなり揺れにくいのです。

金属屋根材は、ガルバリウム鋼板、トタン、銅板などをいいます。素材が軽く自由な加工が可能です。全般的に耐久性に優れ、防水性が高い特徴があります。浅い勾配でも使用することができます。アルミメッキで覆われているガルバリウム鋼板は、トタンに比べて4～6倍も防錆性が高いとされていて、スレートや洋風瓦のような形をしたものも出ています。

瓦屋根の持つ**耐久性**や**美しさ**、**重量感**はそのままに、新素材の力で、**軽量性・耐風性・防水性**に優れた瓦「**ルーガ**」をケイミューが開発しました。ルーガ（ROOGA）は、大人がハンマーでたたいても割れません。硬い素材です。無機材料の強さ、樹脂材料の水の通しにくさ、繊維材料の粘り強さをひとつに融合した素材で「**樹脂混入繊維補強軽量セメント瓦**」です。形が2種類あって、和風にも洋風にも合います。**地震に強いこと、色あせしにくいこと、塗替えの頻度が少なくてすむこと**は、とても良い話ですが、価格は、**少し高め**です。

◆粘土瓦：平板瓦葺き（新築工事）



◆スレート屋根から平板瓦に葺き替えのリフォーム工事



⇒



◆金属瓦の塗替えリフォーム工事 朱色は錆止め



⇒



◆コロニアル屋根の塗替えリフォーム工事 ビフォー⇒高圧洗浄⇒アフター



【外壁】

外壁に求める性能 ①色あせしにくい！②汚れにくい！③地震に強い！④長持ちする！

外壁に表れる住まい手のこだわり ライフスタイルによって好む外観イメージは大きく違ってきます。アウルウイングは、デザイン性、耐久性、断熱性を考慮し、加えて周囲の景観となじむように、総合的に判断して素材を選んでご提案しています。新築工事、リフォーム工事の現場に合わせてご提案します。

外壁材には、**サイディング張り**、**タイル張り**、**土塗り**、**木質系の板張り**などがあります。サイディングには、セメント質と繊維質が原料の**窯業系**と、軽量の**金属サイディング**があります。

新築時に窯業系、リフォーム時、窯業系の上に金属サイディングを張り、お色直しされるケースもあります。

◆金属サイディング張りの新築工事



塗り壁下地用のサイディングの上に、塗装をして仕上げる場合もあります。塗料にはアクリル系、ウレタン系、シリコン系、フッ素系などの種類があり、値段は安くても耐久性が低く、4、5年で塗替えを余儀なくされるもの、耐久性は高いが、値段も高いものがあります。おススメは、シリコン樹脂系塗料でしょうか、価格と耐久性のバランスがいいので、人気です。仕上げとなる塗装色は、自由にどんな色でも選択可能です。

そのシリコン系で、**水性1液反応硬化形アクリルシリコン樹脂系**の塗料で仕上げた外壁は、耐熱性、耐候性に優れ、汚れを寄せ付けない特性ともっています。耐久年数の目安は、10年位。

◆防火サイディング塗装仕上げの新築工事



◆防火サイディングの塗替えのリフォーム

西側の汚れがひどいため、西面だけをガルバリウム鋼板張りで仕上げています。



◆防火サイディングから金属サイディング張りへのリフォーム



木質系の板張りは、雰囲気はとてもいいのですが、木材保護のために塗装を必要とします。立地環境にもよりますが、塗替えは10年位とっていた方がいいでしょう。

◆外装の塗替えのリフォーム工事



タイルは、高級感があり美しく、デザイン性もよく、耐久性もありますが、価格は高くなります。デザイン的にアクセントとして部分使いをおススメします。

土塗りは、古くからありますが、少なくなってきました。注目されているのは、漆喰や珪藻土といった天然素材の土塗りです。

珪藻土は、調湿作用があり、結露や湿害を防止してくれる優れたものです。他に吸音性・遮音性・耐火性にもよく、人にやさしい高機能素材です。珪藻土は、藻類の一種である珪藻の殻の化石の堆積物です。七輪に使われています。衝撃に弱いのが難点です。

漆喰の外壁は、防水性があり、カビにくく、防臭効果、防音性もあります。昔から蔵や城の外壁や塀などに使われてきました。メンテナンスをしっかりとすると、100年以上の耐久性があるとされています。キズがつきやすい難点があります。漆喰の主成分は、石灰石です。本漆喰、土佐漆喰、琉球漆喰などがあります。スイスアルプスが育んだスイス漆喰もあります。

珪藻土も漆喰も機能的にメリットがたくさんあり、健康にも環境にも優しいのですが、お財布には厳しい価格といえます。